



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社ランディックス 上場取引所 東
 コード番号 2981 URL https://landix.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 和也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 中山 周一郎 TEL 03-3427-7711
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,980	—	789	—	764	—	520	—
2019年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 520百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	221.22	212.45
2019年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は2019年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第3四半期の数値及び2020年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2019年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
 3. 当社株式は2020年12月19日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2020年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新規上場日から2020年3月期第3四半期連結会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,705	4,275	55.5
2019年3月期	6,813	3,191	46.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,275百万円 2019年3月期 3,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	16.00	16.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2020年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 43円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,848	—	1,003	—	938	—	646	—	263.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	2,734,693株	2019年3月期	2,334,693株
② 期末自己株式数	一株	2019年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2,355,056株	2019年3月期3Q	一株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は2019年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続いておりましたが、米中貿易摩擦の長期化や中東諸国での地政学的リスクの高まりなどに加え、10月の消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動など、先行きが不透明な状況で推移しました。

そのような環境のもと、当社グループの不動産売買においては、仕入部門と販売部門の2軸を併せ持つ当社の強みを最大限に生かし、より高い収益率を見込む不動産の仕入および販売に注力し、結果として連結売上総利益率が26.5%という結果となりました。

当社では、不動産売買のさらなる高収益実現のため、自社の不動産売買サイトの機能・サービス拡充へのシステム開発を進めた結果、土地取得後の住宅建築業者とのマッチング機能のサービス「sumuzu Matching」を予定通り当第3四半期連結累計期間にリリースしました。現在のPV数やユニークユーザー数は着実に増加していますが、引き続き豊富に保有する富裕層顧客データを重要資源として対面取引におけるサービスに力を注ぐとともに、ITによる効率的な不動産販売の実現と自社サイトでのマッチングビジネス拡充に取り組んでまいります。

そのような状況下において、売上高は5,980,486千円、営業利益は789,297千円、経常利益は764,013千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は520,994千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①sumuzu事業

当セグメントにつきましては、消費税率が2019年10月から10%に増税される前の駆け込み需要の反動や景況感の下振れもありましたが、当四半期連結累計期間にオーダーメイド住宅マッチングサイト「sumuzu Matching」へアクセスする購入意欲の高い登録会員の取り込みに注力し会員数も堅調に増加し、販売高は概ね堅調に推移しました。これにより、売上高は5,924,222千円、営業利益は930,951千円となりました。

②賃貸事業

当セグメントにつきましては、入居者の中途解約等もなく安定した賃料収入により堅調に推移しました。これにより、売上高は54,574千円、営業利益は30,917千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、891,188千円増加の7,705,043千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ、911,056千円増加の6,510,564千円となりました。これは主に現金及び預金が1,031,520千円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ、19,867千円減少の1,194,478千円となりました。これは主に有形固定資産が14,863千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、192,291千円減少の3,429,944千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ、178,725千円増加の2,452,371千円となりました。これは主に短期借入金が219,881千円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、371,016千円減少の977,572千円となりました。これは主に長期借入金が366,282千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、1,083,479千円増加の4,275,099千円となりました。これは増資により資本金が299,920千円、資本剰余金が299,920千円増加したこと及び利益剰余金が483,639千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の動向等を勘案して検討した結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、年度当初の計画通りとなる見通しです。なお、連結業績予想は現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,593,398	3,624,918
たな卸資産	2,857,436	2,726,753
その他	148,673	158,892
流動資産合計	5,599,508	6,510,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	420,047	420,047
減価償却累計額	△82,955	△94,295
建物及び構築物(純額)	337,092	325,752
車両運搬具	28,380	28,380
減価償却累計額	△18,452	△21,451
車両運搬具(純額)	9,927	6,928
工具、器具及び備品	17,992	19,338
減価償却累計額	△10,091	△11,961
工具、器具及び備品(純額)	7,901	7,377
土地	734,410	734,410
有形固定資産合計	1,089,331	1,074,468
無形固定資産	215	436
投資その他の資産	124,798	119,573
固定資産合計	1,214,346	1,194,478
資産合計	6,813,854	7,705,043

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,504,299	1,724,180
1年内返済予定の長期借入金	327,883	99,059
未払法人税等	198,892	153,470
賞与引当金	1,414	32,008
その他	241,156	443,652
流動負債合計	2,273,646	2,452,371
固定負債		
長期借入金	1,284,176	917,893
その他	64,412	59,678
固定負債合計	1,348,588	977,572
負債合計	3,622,235	3,429,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	136,498	436,418
資本剰余金	349,366	649,286
利益剰余金	2,705,754	3,189,394
株主資本合計	3,191,619	4,275,099
純資産合計	3,191,619	4,275,099
負債純資産合計	6,813,854	7,705,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	5,980,486
売上原価	4,394,417
売上総利益	1,586,069
販売費及び一般管理費	796,771
営業利益	789,297
営業外収益	
違約金収入	10,120
その他	1,650
営業外収益合計	11,770
営業外費用	
支払利息	25,147
株式公開費用	11,906
その他	0
営業外費用合計	37,055
経常利益	764,013
特別利益	
保険解約返戻金	55,658
特別利益合計	55,658
税金等調整前四半期純利益	819,672
法人税、住民税及び事業税	298,677
法人税等合計	298,677
四半期純利益	520,994
親会社株主に帰属する四半期純利益	520,994

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	520,994
四半期包括利益	520,994
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	520,994
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2019年12月19日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり2019年12月18日を払込期日とする有償の一般募集（ブックビルディングによる募集）による新株式400,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ299,920千円増加しています。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における資本金は436,418千円、資本剰余金は649,286千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	sumuzu	賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,924,222	54,574	5,978,797	1,689	5,980,486	—	5,980,486
セグメント間の内 部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,924,222	54,574	5,978,797	1,689	5,980,486	—	5,980,486
セグメント利益	930,951	30,917	961,868	1,689	963,558	△174,260	789,297

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸物件管理事業及び保険代理店事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,656千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△174,260千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。